

市電貸し切りで1周年

行政書士松田聡事務所
所「自分史作成教室」

行政書士松田聡事務所（函館市昭和4）はこのほど、自己研さんの場として毎月1回のペースで開講してきた「自分史作成教室」の1周年を記念し、市電1両を貸し切って参加者同士の親睦（しんぼく）を図った写真。

同教室は、昨年6月からことし6月までに12回開講し、参加者数は延べ109人を数えた。車両貸し切りには24人が参加し、電停「湯の川」を出発して「函館どつく前」で折り返し、「五稜郭公

園前」までの約1時間半のコースを設定した。

松田さんは「1年間無事に開催できたのは、自分を見つめ直そうと、目的をもって参加してくれた証し」とあいさつ。車内では、自己紹介に始まり、函館に対する思いや自分史に参加した感想を発表したほか、市電に関するクイズも行われた。

車体には「心の代書屋」自分史作成教室号」の横断幕が掲げられ、観光客らがもの珍しそうに車内をのぞき込んだり、カメラを向けたりしていた。参加者は注目の的となっていて、手を振って応える一方、身の上話に花を咲かせるなど、終始笑顔が絶えなかった。

（浜田孝輔）

